

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ふれんず甲子園		
○保護者評価実施期間	R7年12月 15日 ～ R8年 1月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	R7年11月 12日 ～ R7年 12月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムやイベント行事が充実するよう、行事予定表を毎月作成しています。	毎月行事策定会議を行い、新しい体験ができる取り組みや、児童のリクエストを取り入れながら固定化しないようにプログラムを設定しています。 同法人内での交流会を定期的に開催しています。	児童の会話から活動のヒントを得たり、保護者様からの様子聞き取りの上で設定する等、さらにニーズに合わせた行事予定を作成してまいります。
2	おたよりの配布やSNS発信(Twitter・Instagram)等、様々な媒体を使用して配信を行っています。	活動の写真を多く掲載することで、楽しく過ごしている雰囲気や児童が頑張っている姿を見ていただけるように工夫しております。今年度より、Instagramはストーリーの活用を行い、設備や掲示物等も見えていただけるよう行いました。	活動の様子だけでなく、職員の研修や訓練の取り組み内容についても配信してまいります。
3	個別支援計画書をもとに、本人中心支援を行っています。	送迎時に児童の様子をお聞きし、ふれんず甲子園での過ごし方につなげたり、本人の気持ちや状態・様子を見たらうで活動の提案を行っています。 また、支援開始前・終了後のミーティングにて職員全員で打ち合わせや振り返りを行うことで、共通認識で支援をしています。	日々支援記録の作成を行っていますが、固定化された検証・改善のサイクルが生まれていないという意見がありました。支援開始前のミーティングにて、前回利用時の様子や支援を行った上での様子等を共有し、より良い支援に向けたサイクル化に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に向けた職員の取り組みや共通認識に向けた会議の取り組みを強化したいと感じています。	児童の体調に異常が起きた時やアレルギー症状が起きた時、地震発生時の送迎対応等、イレギュラーなパターンでの対応を職員間で共通認識を持ったり、どの職員も対応ができるようにしていくべきだと考えています。	月1回の職員会議にて各マニュアルを見ながら手順の確認を行ったり改善点を話し合い、内容に応じてシュミレーションを行って参ります。おたよりやSNSにて取り組みの詳細を発信していくことで、保護者様にも知っていただく機会をつくってまいります。
2			
3			